

海岸防災林・防潮堤の復旧

特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業
尾崎・千岩田海岸

林野庁 東北森林管理局
宮城北部森林管理署

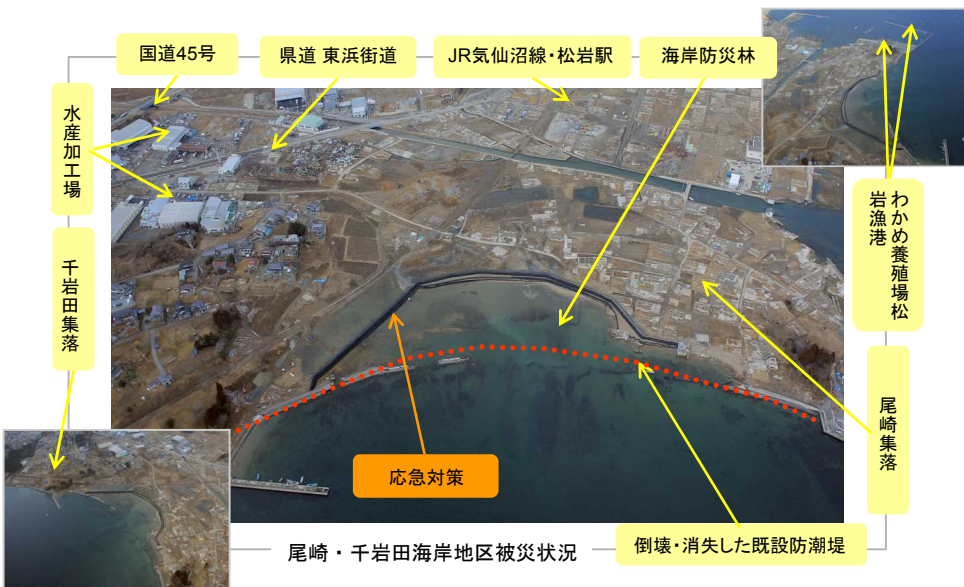
－ 被害の概要 －

尾崎・千岩田海岸では、

尾崎集落を中心に、鉄道、県・市道、農地等に壊滅的な被害を受けました。当地区における浸水範囲は海岸線から放射状に広がり、内陸側へ約1.5kmの浸水被害が確認されました。

海岸防災林の被害は、

既設防潮堤が514mにわたり流亡・倒壊・沈下の被害を受け、民有林で構成される海岸防災林0.7haはほぼ全て消失しました。現在、海岸線中央部は内陸側へ大きくえぐり取られ水没しています。



－ 応急対策工事(大型土のう積工)の施工状況 －



－ 海岸防災林の復旧方針 －

頻度の高い津波および高潮への対策

頻度の高い津波や高潮から人命、財産、種々の産業・経済活動、国土を守ることを目標とします。

※「頻度の高い津波」とは最大クラスの津波に比べて発生頻度が高い（数十年～百数十年に1度）

塩害・潮風害の緩和

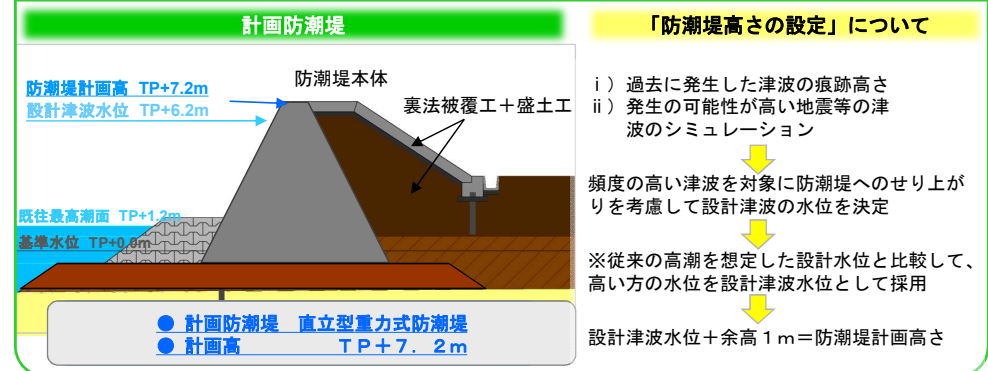
海岸側からの塩分を含んだ風を弱め、田畑や住宅への塩害・飛砂・潮風害などを緩和します。

防潮堤の整備による国土保全・減災対策

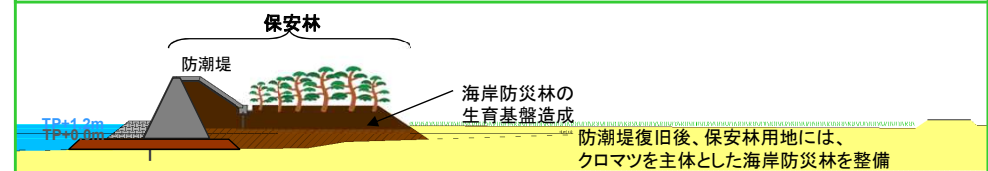
海岸防災林造成による地域の生活環境保全

■ 海岸防災林復旧の考え方と計画 ■

－ 復旧事業の主な対策工法 －



－ 海岸防災林復旧による将来イメージ －



尾崎・千岩田海岸では、

主に施設の復旧により防災機能を確保しつつ、林帯幅を確保し、生育基盤となる2～3mの盛土を実施、津波に対し根返りしにくい健全な海岸防災林を再生します。

海岸防災林は、

クロマツを主体とした植栽のほか、内陸側林縁部では森林の多様性に配慮した導入種を検討します。

【問い合わせ先】

宮城北部森林管理署
宮城県大崎市古川東町5-32
TEL 0229-22-2074

海岸防災林復旧対策事務所
宮城県大崎市古川旭4-1-1(宮城県大崎合同庁舎内)
TEL 0229-23-1103

一刻も早い災害復旧・復興のため、特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業の実施についてご理解とご協力をお願いします。

気仙沼地方振興事務所農林振興部
宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6
TEL 0226-24-2536

海岸防災林・防潮堤の復旧

特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業
岩井崎海岸

林野庁 東北森林管理局
宮城北部森林管理署

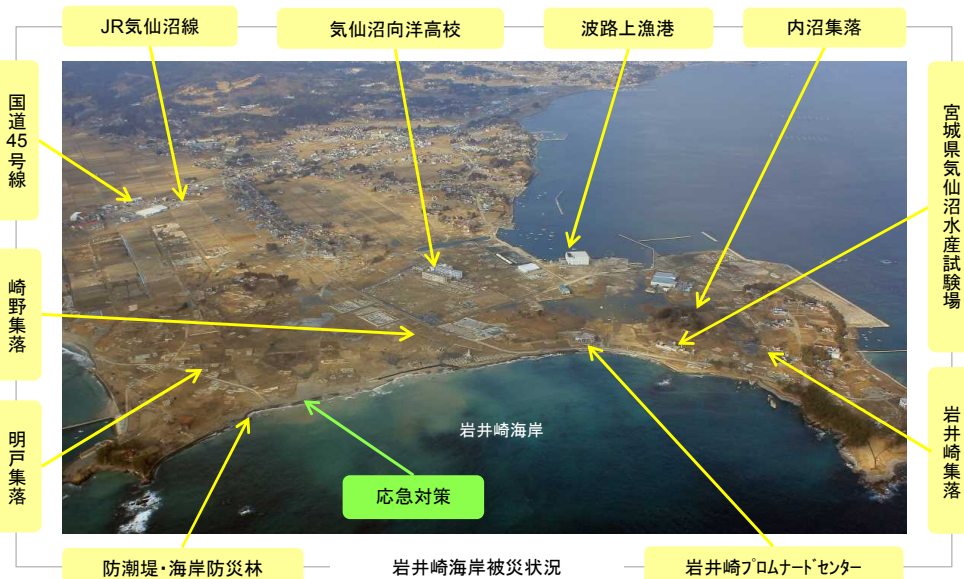
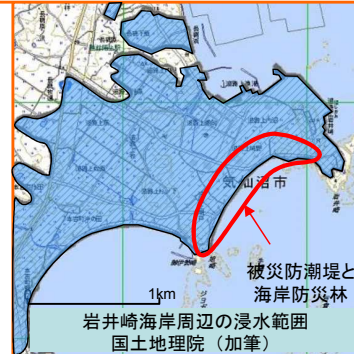
－ 被害の概要 －

岩井崎海岸では、

波路上岩井崎・内沼・崎野・明戸集落を中心に、鉄道、国・市道、農地等に壊滅的な被害を受けました。当地区における浸水範囲は海岸線から内陸側へ1～1.5kmにわたって浸水被害が確認されました。

海岸防災林の被害は、

既設防潮堤が1164mにわたり流亡・倒壊・沈下の被害を受け、民有林で構成される海岸防災林2.2haはほぼ消失しました。現在、海岸防災林の機能は失われ、常時の気象害に対しても無防備な状態となっています。



－ 応急対策工事(大型土のう積工)の施工状況 －



－ 海岸防災林の復旧方針 －

頻度の高い津波および高潮への対策

頻度の高い津波や高潮から人命、財産、種々の産業・経済活動、国土を守ることを目標とします。

※「頻度の高い津波」とは最大クラスの津波に比べて発生頻度が高い(数十年～百数十年に1度)

塩害・潮風害の緩和

海岸側からの塩分を含んだ風を弱め、田畑や住宅への塩害・飛砂・潮風害などを緩和します。

防潮堤の整備による国土保全・減災対策

海岸防災林造成による地域の生活環境保全

■ 海岸防災林復旧の考え方と計画 ■

－ 復旧事業の主な対策工法 －

計画防潮堤

防潮堤計画高 TP+9.8m
設計津波水位 TP+8.8m

既往最高潮面 TP+1.2m
基準水位 TP+0.6m

防潮堤本体

裏法被覆工+盛土工

● 計画防潮堤 直立型重力式防潮堤
● 計画高 TP+9.8m

「防潮堤高さの設定」について

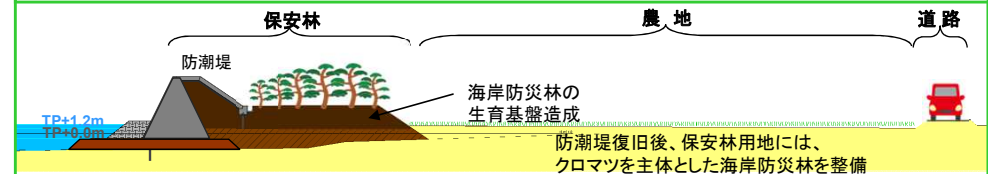
- i) 過去に発生した津波の痕跡高さ
- ii) 発生の可能性が高い地震等の津波のシミュレーション

頻度の高い津波を対象に防潮堤へのせり上がりを考慮して設計津波の水位を決定

※従来の高潮を想定した設計水位と比較して、高い方の水位を設計津波水位として採用

設計津波水位+余高1m=防潮堤計画高さ

－ 海岸防災林復旧による将来イメージ －



岩井崎海岸では、主に施設の復旧により防災機能を確保しつつ、林帯幅を確保し、生育基盤となる2～3mの盛土を実施、津波に対し根返りしにくい健全な海岸防災林を再生します。

海岸防災林は、クロマツを主体とした植栽のほか、内陸側林縁部では森林の多様性に配慮した導入種を検討します。

【問い合わせ先】

宮城北部森林管理署
宮城県大崎市古川東町5-32
TEL 0229-22-2074

海岸防災林復旧対策事務所
宮城県大崎市古川旭4-1-1(宮城県大崎合同庁舎内)
TEL 0229-23-1103

一刻も早い災害復旧・復興のため、特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業の実施についてご理解とご協力をお願いします。

気仙沼地方振興事務所農林振興部
宮城県気仙沼市赤岩ノ沢47-6
TEL 0226-24-2536

海岸防災林・防潮堤の復旧

特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業
御伊勢浜海岸

林野庁 東北森林管理局
宮城北部森林管理署

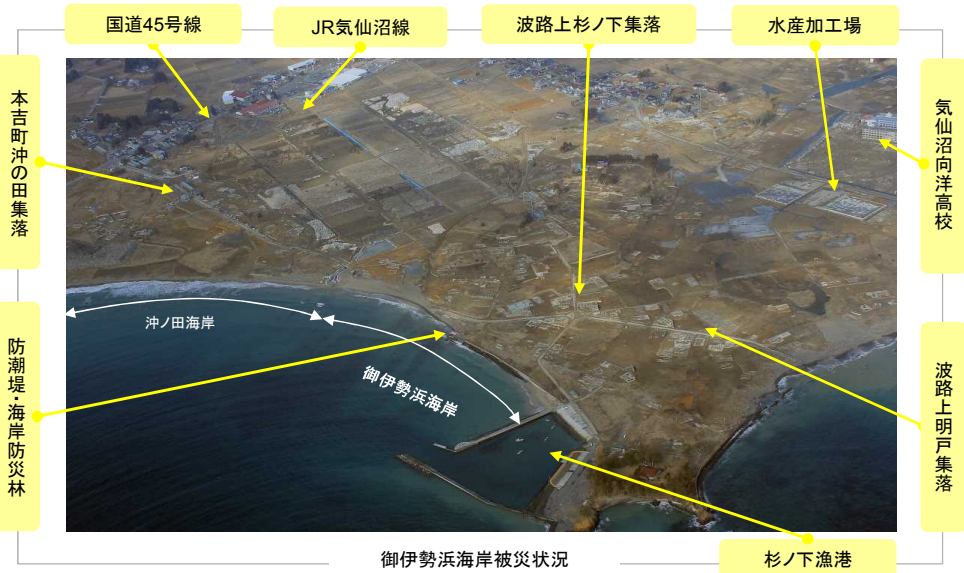
－ 被害の概要 －

御伊勢浜海岸では、

波路上杉ノ下と明戸集落を中心に、鉄道、国・市道、農地等に壊滅的な被害を受けました。当地区における浸水範囲は海岸線から内陸側へ1kmにわたって浸水被害が確認されました。

海岸防災林の被害は、

既設防潮堤が445mにわたり流亡・倒壊・沈下の被害を受け、民有林で構成される海岸防災林1.3haはほぼ消失しました。現在、海岸防災林の機能は失われ、常時の気象害に対しても無防備な状態となっています。



－ 御伊勢浜海岸の被災状況 －



既設の防潮護岸工は流出・倒壊し、海岸防災林も壊滅状態



背後の杉ノ下・明戸集落は壊滅的な被害を受けている

－ 海岸防災林の復旧方針 －

頻度の高い津波および高潮への対策

頻度の高い津波や高潮から人命、財産、種々の産業・経済活動、国土を守ることを目標とします。

※「頻度の高い津波」とは最大クラスの津波に比べて発生頻度が高い（数十年～百数十年に1度）

塩害・潮風害の緩和

海岸側からの塩分を含んだ風を弱め、田畑や住宅への塩害・飛砂・潮風害などを緩和します。

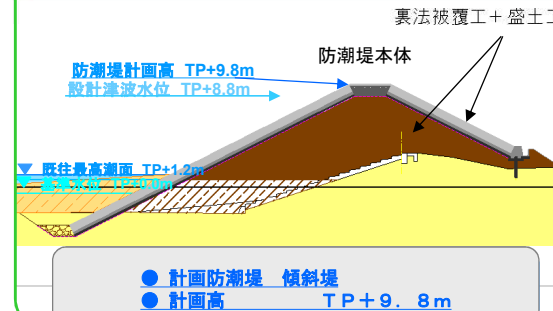
防潮堤の整備による国土保全・減災対策

海岸防災林造成による地域の生活環境保全

■ 海岸防災林復旧の考え方と計画 ■

－ 復旧事業の主な対策工法 －

計画防潮堤



「防潮堤高さの設定」について

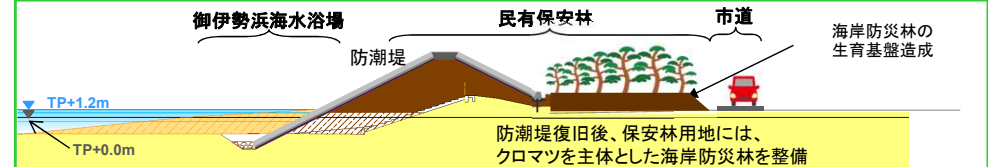
- i) 過去に発生した津波の痕跡高さ
- ii) 発生の可能性が高い地震等の津波のシミュレーション

頻度の高い津波を対象に防潮堤へのせり上がりを考慮して設計津波の水位を決定

※従来の高潮を想定した設計水位と比較して、高い方の水位を設計津波水位として採用

設計津波水位+余高1m=防潮堤計画高さ

－ 海岸防災林復旧による将来イメージ －



御伊勢浜海岸では、

主に施設の復旧により防災機能を確保しつつ、林帯幅を確保し、生育基盤となる2～3mの盛土を実施、津波に対し根返りしにくい健全な海岸防災林を再生します。

海岸防災林は、

クロマツを主体とした植栽のほか、内陸側林縁部では森林の多様性に配慮した導入種を検討します。

【問い合わせ先】

宮城北部森林管理署
宮城県大崎市古川東町5-32
TEL 0229-22-2074

海岸防災林復旧対策事務所
宮城県大崎市古川旭4-1-1（宮城県大崎合同庁舎内）
TEL 0229-23-1103

一刻も早い災害復旧・復興のため、特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業の実施についてご理解とご協力をお願いします。

気仙沼地方振興事務所農林振興部
宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6
TEL 0226-24-2536

海岸防災林・防潮堤の復旧

● 特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業 沖ノ田海岸 林野庁 東北森林管理局
 ○ 国有林野内直轄治山施設災害復旧事業 野々下海岸、野々下・沖ノ田海岸 宮城北部森林管理署

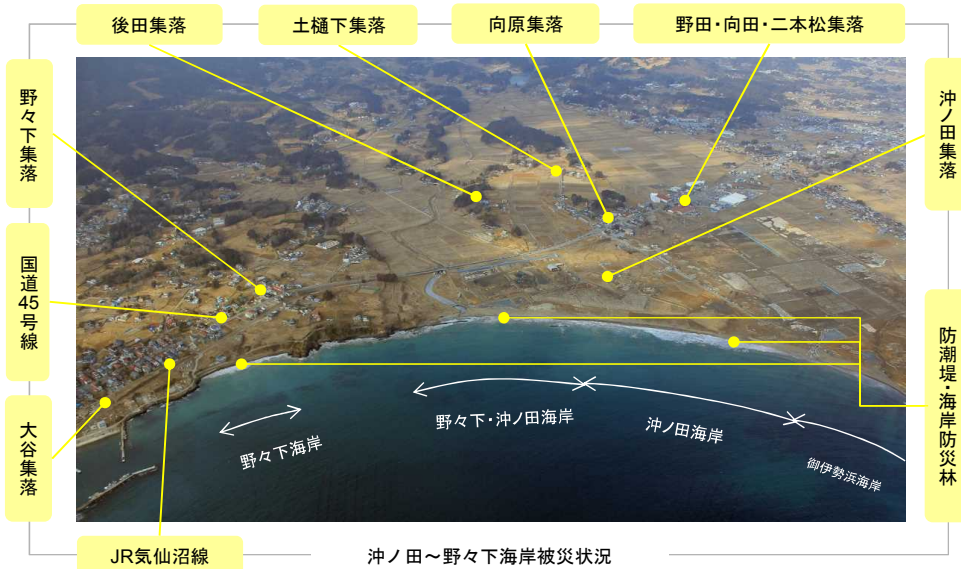
－ 被害の概要 －

沖ノ田～野々下海岸付近では、

沖ノ田・野々下集落をはじめ、内陸側の多くの集落と、鉄道、国・市道、農地等に壊滅的な被害を受けました。当地区においては海岸線から内陸側へ0.5～1.5kmにわたって浸水被害が確認されました。

海岸防災林の被害は、

既設防潮堤は3区域合計で884mにわたり流亡・倒壊・沈下の被害を受け、海岸防災林は民有林1.6ha、国有林1.03haがほぼ消失しました。現在、海岸防災林の機能は失われ、常時の気象害に対しても無防備な状態となっています。



－ 海岸防災林の復旧方針 －

頻度の高い津波および高潮への対策

頻度の高い津波や高潮から人命、財産、種々の産業・経済活動、国土を守ることを目標とします。
 ※「頻度の高い津波」とは最大クラスの津波に比べて発生頻度が高い（数十年～百数十年に1度）

塩害・潮風害の緩和

海岸側からの塩分を含んだ風を弱め、田畑や住宅への塩害・飛砂・潮風害などを緩和します。

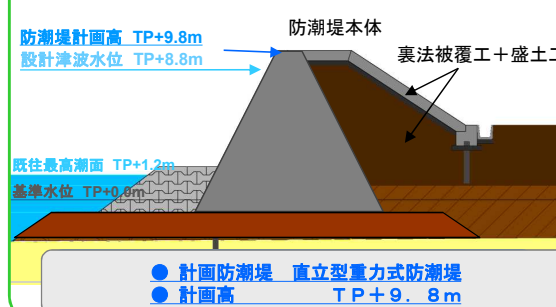
防潮堤の整備による国土保全・減災対策

海岸防災林造成による地域の生活環境保全

■ 海岸防災林復旧の考え方と計画 ■

－ 復旧事業の主な対策工法 －

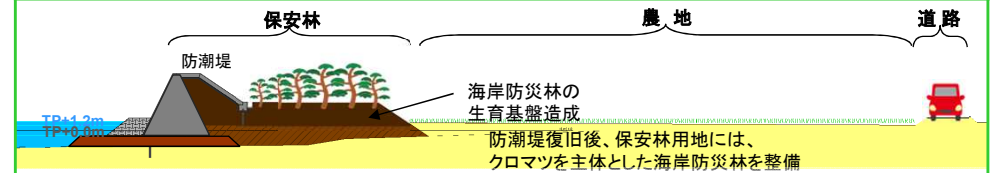
計画防潮堤



「防潮堤高さの設定」について

- 過去に発生した津波の痕跡高さ
 - 発生の可能性が高い地震等の津波のシミュレーション
- ↓
- 頻度の高い津波を対象に防潮堤へのせり上がりを考慮して設計津波の水位を決定
- ↓
- ※従来の高潮を想定した設計水位と比較して、高い方の水位を設計津波水位として採用
- ↓
- 設計津波水位+余高1m=防潮堤計画高さ

－ 海岸防災林復旧による将来イメージ －



沖ノ田～野々下海岸では、

主に施設の復旧により防災機能を確保しつつ、林帯幅を確保し、生育基盤となる2～3mの盛土を実施、津波に対し根返りにくい健全な海岸防災林を再生します。

海岸防災林は、

クロマツを主体とした植栽のほか、内陸側林縁部では森林の多様性に配慮した導入種を検討します。

－ 応急対策工事(大型土のう積工)の施工状況 (野々下海岸) －



【問い合わせ先】

宮城北部森林管理署
 宮城県大崎市古川東町5-32
 TEL 0229-22-2074

海岸防災林復旧対策事務所
 宮城県大崎市古川旭4-1-1(宮城県大崎合同庁舎内)
 TEL 0229-23-1103

一刻も早い災害復旧・復興のため、国有林野内直轄治山施設災害復旧事業 および特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業の実施についてご理解とご協力をお願いします。

気仙沼地方振興事務所農林振興部
 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢47-6
 TEL 0226-24-2536

海岸防災林・防潮堤の復旧

国有林野内直轄治山施設災害復旧事業
大谷海岸

林野庁 東北森林管理局
宮城北部森林管理署

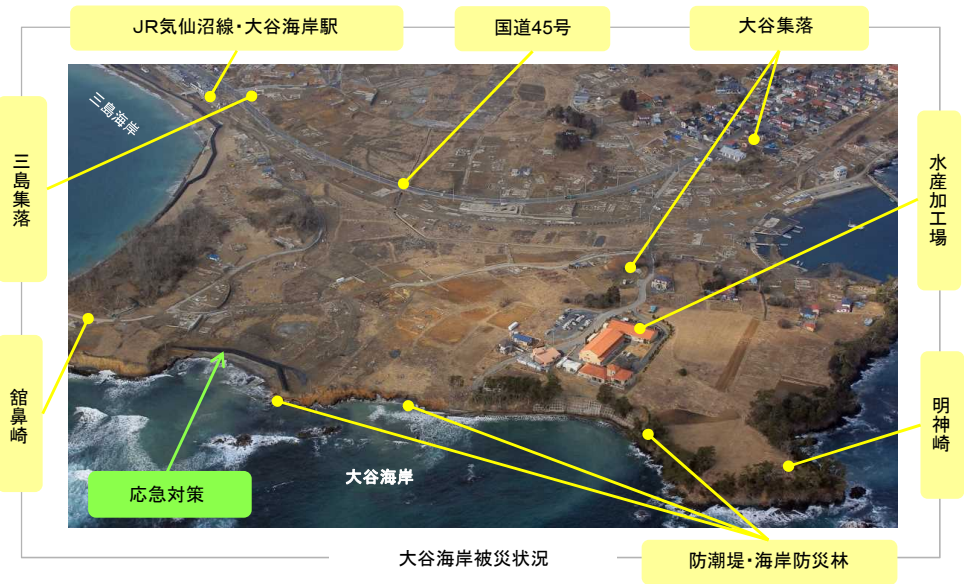
－ 被害の概要 －

大谷海岸では、

点在する人家を中心に、鉄道、国・市道、農地等に壊滅的な被害を受けました。当地区では海岸線から内陸側へ500mから1kmにわたって浸水被害が確認されました。

海岸防災林の被害は、

既設防潮堤が380mにわたり流亡・倒壊・沈下の被害を受け、国有林で構成される海岸防災林1.3haは一部を残し、その多くが消失しました。現在、海岸防災林の機能は失われ、常時の気象害に対しても無防備な状態となっています。



－ 応急対策工事(大型土のう積工)の施工状況 －



－ 海岸防災林の復旧方針 －

頻度の高い津波および高潮への対策

頻度の高い津波や高潮から人命、財産、種々の産業・経済活動、国土を守ることを目標とします。

※「頻度の高い津波」とは最大クラスの津波に比べて発生頻度が高い（数十年～百数十年に1度）

塩害・潮風害の緩和

海岸側からの塩分を含んだ風を弱め、田畑や住宅への塩害・飛砂・潮風害などを緩和します。

防潮堤の整備による国土保全・減災対策

海岸防災林造成による地域の生活環境保全

■ 海岸防災林復旧の考え方と計画 ■

－ 復旧事業の主な対策工法 －

計画防潮堤

防潮堤計画高 TP+9.8m
設計津波水位 TP+8.8m

防潮堤本体

裏法被覆工+盛土工

既往最高潮面 TP+1.2m
基準水位 TP+0.6m

- 計画防潮堤 直立式重力式防潮堤
- 計画高 TP+9.8m

「防潮堤高さの設定」について

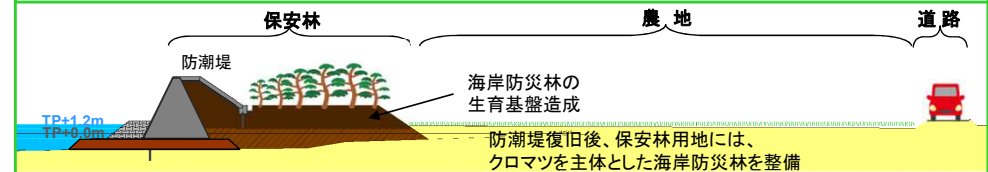
- 過去に発生した津波の痕跡高さ
- 発生の可能性が高い地震等の津波のシミュレーション

頻度の高い津波を対象に防潮堤へのせり上がりを考慮して設計津波の水位を決定

※従来の高潮を想定した設計水位と比較して、高い方の水位を設計津波水位として採用

設計津波水位+余高1m=防潮堤計画高さ

－ 海岸防災林復旧による将来イメージ －



大谷海岸では、

林帯幅が狭いため、主に施設の復旧により防災機能を確保しつつも、用地幅に基づいて生育基盤となる2～3mの盛土を実施し、津波に対し根返りにくい健全な海岸防災林を再生します。

海岸防災林は、

クロマツを主体とした植栽のほか、内陸側林縁部では森林の多様性に配慮した導入種を検討します。

【問い合わせ先】

宮城北部森林管理署
宮城県大崎市古川東町5-32
TEL 0229-22-2074

海岸防災林復旧対策事務所
宮城県大崎市古川旭4-1-1(宮城県大崎合同庁舎内)
TEL 0229-23-1103

一刻も早い災害復旧・復興のため、国有林野内直轄治山施設災害復旧事業の実施についてご理解とご協力をお願いします。

海岸防災林・防潮堤の復旧

国有林野内直轄治山施設災害復旧事業
三島海岸

林野庁 東北森林管理局
宮城北部森林管理署

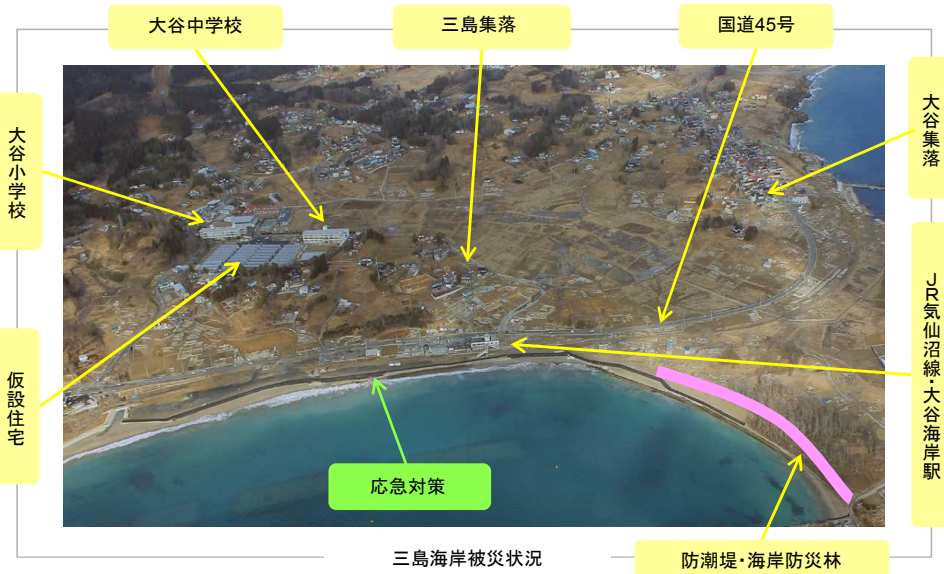
－ 被害の概要 －

三島海岸では、

三島集落を中心に、鉄道、国・市道、農地等に壊滅的な被害を受けました。当地区では海岸線から内陸側へ500mから1kmにわたって浸水被害が確認されました。

海岸防災林の被害は、

既設防潮堤が1000mにわたり流亡・倒壊・沈下の被害を受け、国有林で構成される海岸防災林4.4haは一部を残し、その多くが消失しました。現在、海岸防災林の機能は失われ、常時の気象害に対しても無防備な状態となっています。



三島海岸被災状況

防潮堤・海岸防災林

－ 応急対策工事(大型土のう積工)の施工状況 －



着手前



応急対策完成

－ 海岸防災林の復旧方針 －

頻度の高い津波および高潮への対策

頻度の高い津波や高潮から人命、財産、種々の産業・経済活動、国土を守ることを目標とします。

※「頻度の高い津波」とは最大クラスの津波に比べて発生頻度が高い（数十年～百数十年に1度）

塩害・潮風害の緩和

海岸側からの塩分を含んだ風を弱め、田畑や住宅への塩害・飛砂・潮風害などを緩和します。

防潮堤の整備による国土保全・減災対策

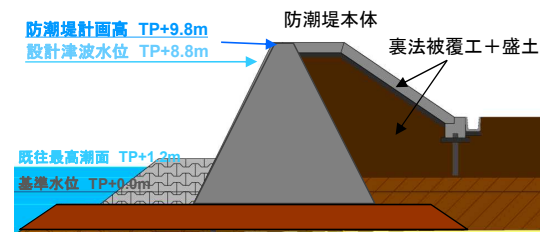
海岸防災林造成による地域の生活環境保全

■ 海岸防災林復旧の考え方と計画 ■

－ 復旧事業の主な対策工法 －

計画防潮堤

防潮堤計画高 TP+9.8m
設計津波水位 TP+8.8m



- 計画防潮堤 直立型重力式防潮堤
- 計画高 TP+9.8m

「防潮堤高さの設定」について

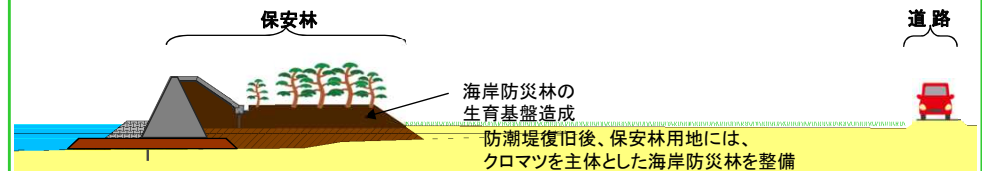
- 過去に発生した津波の痕跡高さ
- 発生の可能性が高い地震等の津波のシミュレーション

頻度の高い津波を対象に防潮堤へのせり上がりを考慮して設計津波の水位を決定

※従来の高潮を想定した設計水位と比較して、高い方の水位を設計津波水位として採用

設計津波水位+余高1m=防潮堤計画高さ

－ 海岸防災林復旧による将来イメージ －



三島海岸では、

林帯幅が狭いため、主に施設の復旧により防災機能を確保しつつも、用地幅に基づいて生育基盤となる2～3mの盛土を実施し、津波に対し根返りにくい健全な海岸防災林を再生します。

海岸防災林は、

クロマツを主体とした植栽のほか、内陸側林縁部では森林の多様性に配慮した導入種を検討します。

一刻も早い災害復旧・復興のため、国有林野内直轄治山施設災害復旧事業の実施についてご理解とご協力をおねがいます。

【問い合わせ先】

宮城北部森林管理署
宮城県大崎市古川東町5-32
TEL 0229-22-2074

海岸防災林復旧対策事務所
宮城県大崎市古川旭4-1-1(宮城県大崎合同庁舎内)
TEL 0229-23-1103